

## 2020年度第4回教育委員会議事録

日時 2021年2月3日(水) 10:30～17:00

会場 日本代協会議室(Web開催)

出席者 石川委員長

(敬称略)

ブロック	委員名	ブロック	委員名	ブロック	委員名	ブロック	委員名
北海道	伊藤	北東北	藤本	南東北	赤城	上信越	古瀬
東関東	井上	南関東	丹野	東京	雨宮	東海	八木
北陸	中村	近畿	谷口	阪神	山本	東中国	藤原
西中国	近藤	四国	渡部	九州北	甲山	九州南	徳丸

事務局:小田島副会長、小見常務、小峯部長

### (配付資料)

- (資料1-1)2020年度「目指せ、3冠王!!」ニュース
- (資料1-2)日本代協「2021年度事業計画」案(2/5 理事会審議用 DRAFT)
- (資料1-3)事業計画別紙 各委員会への諮問推進事項(差替版)
- (資料2-1)損害保険大学課程各コースの認定状況等について
- (資料2-2)損保TP認定検索サイト搭載数
- (資料2-3)コンサルセミナーの運営(セミナー次善策の検討)
- (資料2-4)ステージ判断指標
- (資料2-5)第1回セミナー日程
- (資料2-6)第2回セミナー日程
- (資料2-7)セミナー直前延期の場合の当日派遣者について
- (資料2-8)セミナー受講申込状況
- (資料2-9)2021 損保大学課程コンサル受講ガイド(初校)
- (資料3-1)日本代協アカデミー集計レポート(0128)
- (資料3-2)アカデミーコンテンツ別アクセス数(教育)
- (資料3-3)アカデミーコンテンツ別アクセス数(情報)
- (資料3-4)日本代協アカデミー推進案(長野県代協)
- (資料3-5)＜検討資料＞2021年度アカデミー数値目標(利用者ID登録数・純増目標)

### 1. 決定事項

2021年度事業計画(案)の教育委員会関係部分について了承した。  
緊急事態宣言期間内のセミナーについては、一律延期とした。  
2021年度受講ガイド案を了承した。  
次年度アカデミーの目標値を「基準値×3%」のパターンとすることを了承した。

### 2. 継続検討事項

リアル集合形式のセミナーの再開、ZoomWEBセミナー開始、セミナー代替策について継続して検討を進めていく。

---

議 事

(進行) 石川委員長 (書記) 小峯部長

## 1. 議事録作成者の指名、出席者の確認

石川委員長、教育委員16名、小田島副会長、事務局：小見常務、小峯部長

## 2. 石川委員長挨拶

今年度教育委員会は全てWEB開催となってしまった。ご承知のとおり、緊急事態宣言も昨日栃木だけ除いて10都府県引き続き3月7日まで延長された。医療ももちろん切迫しているし、事業継続できなくなった業種の方々も大変多く出てきているかと思う。改めて我々保険代理業を見てみると、比較的事業継続ができており感謝している。一方で我々はどんな有事の際でも、どんな大変な時でも事業を止めることなく継続してお客様にサービスを提供していかなければならず、ある意味非常に責任の重い厳しいミッションを与えられた業種であると思っている。そんな中で我々は事業を継続していく以上、日本代協としての目的の一つである資質向上を達成するために、教育研修事業を止めることなく、どんな時でも創意工夫をしながら会員に継続して提供していかななくてはならない。本日はこの後、2021年度事業計画の教育委員会にかかわるポイントを話させていただくが、これについては今週金曜日の日本代協理事会で審議が行われるので、教育委員会でも皆様としっかりと議論していきたい。WEB会議で5時までの長丁場となるがよろしくお願ひしたい。

## 3. 小田島副会長挨拶

皆さん毎日自身の会社や地域のコミュニティの仕事が忙しい中、感染防止対策を強化しなくてはいけなかったり、さらに教育委員会の任務が重なったりと頑張っていることに対し感謝申し上げたい。コンサルティングコースセミナーの実施が不安定になって、そこに加えて新年度の募集があったりと、いろいろ難儀したり心配したり大変ご苦労をかけている。各代協の大学課程募集数値を拝見すると、既に目標を達成している県もある。もちろん三冠という大きな目標もあるが、新年度に向かって全国の会員が学ぶことに前向きな姿勢であること、募集人の資質向上を新しい年度に向けても準備しているということ、自分を磨くことに注力しているということが数値からもわかる。その仕組みを支えている、そしてより良いものに変化させていくという大切な役割をもった教育委員であるということを心におきながら、本日も活発に議論していただきたい。現在までの安定した大きなルールがありながら、この1年間ずっと続いているウイルスと闘うという環境の中で、受講する会員が安心して学べる仕組みを再構築するためにいままでの経験・知恵・思いやりの心を持ちながら皆さんで意見を出し合ってほしい。

## 4. 日本代協「2021年度事業計画」案(審議)

(1)「損害保険大学課程」の運営(含む「三冠王・目標」)

(2)日本代協アカデミーの展開(含む「三冠王・目標」)

石川委員長から、2021年度事業計画(案)に基づき、教育委員会への諮問・推進事項、2021年度事業計画のポイント、教育・研修事業の概要など教育委員会所管事項について説明があり、審議の結果了承された。ポイントは次のとおり。

### 損害保険大学課程の運営

- ・コロナ禍の影響により延期したりリアル集合形式のセミナーについて、代替策(オンライン形式セミナーや動画視聴等)、テキスト自体のデジタル化などの検討も並行して進める。
- ・募集推進について、日本代協として主体的に受講者募集に取り組む。(自主目標840名、三冠王必達項目)

### 日本代協アカデミーの展開

- ・代理店自身の年間教育・研修計画に組み入れて資質向上を図る代協会員を輩出し、継続して学ぶ風土を代理店全体に広げる。
- ・利用者IDを「目指せ、三冠王！」の項目に組み込み、利用者拡大を図る。(三冠王選択項目、ミニマム表彰基準を別途設定する)

## 5. 損害保険大学課程」の運営

### (1) 各コースの認定状況および損保TP検索サイト搭載数について(報告)

小峯部長から、2020年12月末時点の各コースの認定状況および損保TP検索サイト搭載数について報告があった。

### (2) 今後のコンサルティングコースセミナーの運営(代替策の検討)について

#### コンサルティングコースセミナーの開催について(審議)

雨宮副委員長から、今後のコンサルティングコースセミナーの開催について次のとおり説明があり、審議の結果、了承された。

- ・先般の緊急事態宣言の発令により、第1回セミナーは同宣言期間内の9回分のセミナーを延期とし、残る3回(2/16 東京B、2/22 近畿、2/25 東京A)は当面様子見としていたが、昨夜緊急事態宣言が3/7まで延長されたことから、これら3回についても延期とする。
- ・同様に、第2回セミナーについても緊急事態宣言期間内となる2/17北東北、2/18九州北 3/4九州南も延期とする。なお、北東北と九州南は地域的には緊急事態宣言から外れるが、緊急事態宣言発令中のセミナーに不安を覚える方もいると思われることや分かりやすさの観点から、一律に延期という取扱いとしたい。

#### 各ブロックからの現状報告(報告)

雨宮副委員長から、今後のコンサルティングコースセミナー運営の参考のため、各ブロックでの開催状況等について共有したい旨説明があり、各委員から報告があった。主な意見等は次のとおり。

- ・第1回セミナー実施時には、やはり「なぜこのような時期にリアルセミナーをやるのか、感染したら誰が責任を取るのか」との声もあったが、終了後、運営側の苦勞を見た受講生から感謝の声もあり達成感があった。
- ・科目3(生保クロスセル(WEB講義))は負担が大きかった。今後も続くのであれば対応を外部委託するべきと思う。(今回既に外部委託したブロックもあった。また、音漏れやバッテリー切れの問題が発生したというブロックもあった。)
- ・PCR検査を受けて陰性証明を受けないと出社できない・客先にも行けないといったことで、検査代を日本代協もしくは損保協会で負担してほしいといったクレームも複数あった。
- ・スタッフ側に「コロナのリスクがあるので協力できない(会場にはいかない)」といった方が複数いた。また、代理店の方針として、県をまたぐ移動はできないといった理由で協力を拒んだ人もいた。
- ・今回初めて民間の貸会議室を利用したが、従来に比べ利用料が高額だった上にキャンセル料も100%かかったので、今後検討が必要と感じた。
- ・直前のセミナー延期となったため、講師や受講生への連絡などに苦心した。連休明けということもあり当日は会場所在地の代協事務局に立ち合いをお願いしたが、知らずに会場に来てしまった方が複数おり、クレームも受けた。
- ・東京からの講師の受け入れについて、ブロック長と各県代協会長に電話で確認してOKをもらったが、現時点では緊急事態宣言も出ており、OKをもらえるかどうかわからない。(役員から、緊急事態宣言が出ようとしている東京から講師が来るというのはいかがかとの意見が多くあった、というブロックもあった)。
- ・セミナー延期については、広い会場を改めて手配することやスタッフの調整等が心配である。
- ・ブロック内でセミナー会場から遠い県のスタッフについては、コロナのリスクについての懸念が大きい。
- ・セミナーをリアル形式でなくWEB形式でできないのかという声は多くあった。
- ・個人的にはあるが、科目2(職業倫理)について、メリハリがなく一方的な講義という印象を受けた。また、科目2について時間を早く終了した。(時間については、ほかにも同様のブロックがあった。)
- ・自分の地域の状況を踏まえた開催可否について相談するところがないような感じがした。
- ・セミナー延期によりリスケをするが、今後3月・4月に連続して実施するようなことがあると、時期的に受講生に負担が大きいのではないかと感じた。(日程については講師調整の問題による)

- ・第1回セミナーを2回開催するが、1回目は既に終了、2回目は延期という状況になっている。これらに不平等感が生じないようにお願いしたい。
- ・会場で、受講者と受講者の間にクリアパネルを入れてはどうかという意見もあり、今後ブロックとして検討していきたい。

### 2020年度「コンサルティングコースセミナー」リアル集合形式の再開の検討(審議)

雨宮副委員長から、リアル集合セミナー再開の検討について、次のとおり説明があった。

- ・WEB形式の講義の可否について講師と話したところ、やれないことはないがリアルと同じように”熱“を伝えるのは難しいとのことであった。セミナーの質の担保という点では、いきなり変えることは難しい印象。
- ・ついては、在籍期間が終了してしまう2019年度受講生には今年度何らかの方法で受講完了してもらうことを前提に、2020年度受講生については2021年度受講生と合算でリアルセミナーを受講してもらうこととしてはどうか。
- ・2019年度および2020年度受講生についてセミナーを別途再設営する案もあるが、上記の合算受講の方が、受講生にとって今後のワクチン接種の安心感もあり、スケジュール的にも気持ちに余裕があるのではないかと。
- ・なお、いずれにしても感染状況により、さらなる延期が必要となった場合には、他の代替策が必要である。

続いて、意見交換を行った。主な意見は次のとおり。

- ・損保協会からは毎年修了者を出してほしいとの要請があるが、そういった点も考慮する必要がある。併せて、保険会社の代理店ポイントの点についても注意が必要である。
- ・セミナーの質の担保ということでリアルにこだわるのはわかるが、コロナについては今後どうなっていく推測できない。やはりWEB形式の検討が必要なのではないか。
- ・トータルプランナーを毎年輩出してくれということだが、各地域の実情や地元の委員の肌感覚も考慮してほしい。

最後に雨宮副委員長から次のとおり諮られ、了承された。

- ・2019年度の79名の受講生については何らかの個別対応をする。
- ・2020年度受講生については、セミナー開催可能な所は実施していく。どうしても実施できないところが出た場合には、代替策で対応する。2021年度受講生もセミナー開催時期は柔軟に対応する。
- ・ただし、先行きが見えない状況でもあるので、本件検討に係る今後の対応については、正副委員長席に一任願いたい。

また、雨宮副委員長から「セミナーを直前で延期とした場合にセミナー会場に当日対応者を派遣する件」について諮られ、次のとおり一部文言修正の上、了承された。

修正前:「開催1週間前に延期が決まった場合は派遣する」

修正後:「開催1週間で切って延期が決まった場合は会場に派遣する」

### ZoomWEBセミナー開始の検討(審議)

雨宮副委員長から、ZoomWEBセミナー開始の検討について、次のとおり説明があり、審議の結果、了承された。

- ・2021年度以降の受講者用としてZoomミーティングの活用を検討しているが、教育委員がオペレーター業務を担うことは難しいと考えられるため、その担い手の発掘を行っているところである。
- ・2021年度の募集要項には、WEBセミナーの可能性について言及している。
- ・一旦WEB形式にするとリアル形式に戻れるかという不安はある。また、セミナーの中味・運営方法等、教育委員は今後、より高度なものを求められると思われる。

・上記のような事情はあるが、今回のコロナのような状況も踏まえると、本件を鋭意検討を進めていくこととしたい。

#### **動画提供とアンケート配信・返信(集計)の仕組み構築の検討(審議)**

雨宮副委員長から、どうしてもリアルセミナーが開催不可となった場合の代替策の検討について、次のとおり説明があり、審議の結果、了承された。

・代替策については上記でも触れたが、講義動画を視聴して、アンケートの提出を単位獲得要件にするというものである。

・講義動画の提供方法やアンケートの配信・返信の仕組みの構築がポイントとなる。

・本件についても、鋭意検討を進めていくこととしたい。

### **(3)2021 年度「コンサルティングコース」の募集について**

#### **受講申込状況(報告)**

丹野副委員長から、2月2日時点で目標数 840 名に対し 674 名と 80%の達成率となっている旨報告があった。続いて、達成率が 100%を超えている 10 代協について、関係各委員から状況報告があった。

最後に丹野副委員長から、各保険会社におけるトータルプランナーの取扱いについて情報提供があった。

#### **受講勸奨の積極的推進(審議)**

丹野副委員長から、次年度の受講ガイド案について改定部分の説明があり、審議の結果、了承された。

## **6. 日本代協アカデミーの状況と推進**

### **(1)アカデミー状況および次年度目標(報告・審議)**

はじめに古瀬PTリーダーから、長野県代協におけるアカデミー推進策について報告があった。

・本件は、本年 1 月 26 日の長野県代協理事会において承認された。

・10 月に石川委員長に代理店の体制整備に係るセミナーを実施してもらったが、これを受け様々な意見が寄せられ、長野県代協としても募集人の資質向上について何か動かなければということで行ったものである。本来であればアカデミーの無料お試し期間中にできればよかったが、会員の教育研修に係る取組みについて把握しきれていなかった部分もあったためこの時期になってしまった

・最終的に登録が目的ではなく、あくまで継続して教育を行っていかなくてはならないという重要性を認識してもらおうということが目標である。今後、様々な取組を行っていく予定である。

続いて小峯部長から、2021 年度アカデミー数値目標の検討資料について次のとおり説明があった。

・今年度と同様の方法で目標値を 3 パターン試算した。

・募集従事者数や登録ID数については、最終的に 3 月末の数字を基に再計算する。

最後に石川委員長から、目標値設定方法の是非、是とした場合に 3 パターンのうちどれを採用するかについて諮られ、目標値を「基準値×3%」のパターンとすることで了承された。

### **(2)アカデミー推進PT(中村リーダー:報告)**

・12 月の臨時教育委員会の後、PTで打ち合わせを行った結果、推進策として「有効活用コンテスト」「目標値 100%達成に対する報奨金」「(福岡代協の取組みを参考に)組織委員とタイアップする『仲間づくりチャラシ』を活用した取組み」などの案が挙げられた。今後、さらに検討を進めていきたい。

・目標値があると取組みが義務的(登録重視)になってしまう感じがある。登録重視だと押し付けられた感が出てしまうので、日本代協アカデミーは安い値段で学習できる環境を提供するために作った制度であり、いいものだけということもPRしていかなければならないと思う

## (2)アカデミー教育コンテンツPT(古瀬リーダー:報告)

- ・中村リーダー同様、アカデミーと聞くと拒絶してしまうような会員が多い印象を受けている。
- ・アカデミーを利用している会員は良いが、お付き合いで入った人やこれから入って頑張ろうとしている人のために、さらなるアカデミーの拡充が必要と考えている。そういう方々が見て分かるような利用方法・活用方法についてのコンテンツを作らなくてはいけないと考えている。そういうことを反映した教育プログラムを作成し、継続して提供していくことを検討していく。
- ・アカデミーは教育委員会だけではなく全会員で育てていくものである。今後、各委員会に様々なコンテンツ作成をお願いしていく。

## (3)アカデミー情報提供コンテンツPT(丹野リーダー:報告)

- ・今年度事業計画の中で、提供だけでなく展開が課題とされており、情報収集したものを提供していかなくてはならない。
- ・以前より情報収集した中から好取組代理店を紹介しようと、各地の教育委員や広報委員と連携して取材を行うという話もあったが、現実的になかなか難しい。そういった中で正副委員長・PTリーダーでの打合せで、日本代協アドバイザーの粕谷さんに、当PTで情報収集した好取組代理店の取材をお願いできないかとの話が出た。今後、当PTにおけるアンケート分析結果等を踏まえ粕谷さんに相談し、進めていく。
- ・次回アンケートは4月になるが、テーマ等をPTメンバーで調整していく。

最後に、小田島副会長から、次のとおり総括があった。

- ・皆さんが今までにはなかったような対応をしながら、会員の心配の声に応え、場をおさめ、事業推進をしている話をいろいろと聞かせていただいた。
- ・強い責任感と何事も受け止める柔軟な姿勢がすごい力だと感じながら聞かせていただいた。
- ・代協会員が安心できる環境で学べるようにと皆さんが考えてくれた、この生の声と熱い思いが仕組づくりに活かされて、コロナ以外の脅威にも負けない質の高い教育研修が継続できるように着実にスピード感を持ってこれからも取り組んでいってほしい。

## (次回開催)

2021年度 第1回委員会      4月8日(木) 10:30 ~ 17:00

以 上